

科 目 名	国語Ⅱ JapaneseⅡ			担当教員	長谷川 隆		
学 年	2 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120012	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。原則として週に1回漢字小テストを実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※全体ガイダンス(1) 1. 随想と小説(13) (1) 随想 カフェの開店準備(小池昌代) (2) 小説 山月記(中島敦)			・私たちの生の容貌について理解する。(「カフェの開店準備」) ・文中の表現をたどりながら、主人公李徴が、なぜ虎となったのかをまとめることができる。(「山月記」) A－1			
	[前期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 2. 表現(13) (1) 国語表現の実践 ア. 類義語 イ. 慣用表現 ウ. 敬語 エ. 文の乱れ オ. 明快な表現 カ. 文を短く			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 D－1			
	前期末試験						
	※試験解説(1) 3. 小説と評論(13) (1) レキシントンの幽霊(村上春樹) (2) 世代間倫理としての環境倫理学(加藤尚武)			・「ほんとうの世界」について考えを深めることができる。(「レキシントンの幽霊」) ・環境倫理学の特徴について理解する。(「世代間倫理としての環境倫理学」) A－1			
	[後期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 4. 漢文(13) (1) 画竜点睛 (2) 四面楚歌			・訓読の基本事項を理解する。(画竜点睛) ・項羽の気持ちを理解する。(四面楚歌) A－1			
	後期末試験						
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、演習問題・読書ノート・夏休み課題文等の提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1～4のそれぞれについて、各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ（1年）→国語Ⅱ（2年）→国語Ⅲ（3年）→文学特論（4年）→古典文学（専攻科2年）						
教 材	教科書：高等学校現代文改訂版 三省堂 柴田武他編 問題集：高等学校現代文[改訂版]課題ノート 三省堂 高等学校現代文編集委員会 教科書：新編古典 筑摩書房 鈴木日出男他編 漢 字：級別漢字学習4級～2級(改訂常用漢字表対応版) 東京法令出版 赤羽靖他 表 現：基礎からの国語表現の実践(改訂版) 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞 書：電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)						
備 考	特になし						